

令和 5 年度 事業報告

特別養護老人ホームフラワーホーム

【総合的な目標の総括】

「入居者様、職員が楽しく笑顔が溢れるように」ということを目標の一つとして取り組んだ。季節の催し物や外出など定期的に行い、職員も楽しみ、ご家族・入居者様も喜んでもらえる関係づくりに努めた。必要な介護用具・機器も徐々に普及・浸透してきており、入居者様の状態に応じた適切な機器を活用することにより職員のケアにかかる負担軽減や入居者様の事故に繋がるリスク軽減も図れてきている。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

感染対策を意識しながら納涼会・敬老祝賀会等、比較的規模の大きな催し物は多職種の協力もあり開催することができ、入居者様との交流を図ることができた。入居者様・職員共々笑顔が溢れる時間を共有できた。

個別では数名の方を自宅へ外出支援を行うことが出来たが、もっと多くの方々に対して様々な個別支援ができるように取り組んでいきたい。

職員教育は外部講師を招き、ノーリフトや移乗・ポジショニングに関する勉強会の実施が継続的にできた。合わせて、ノーリフト委員会を中心に導入した福祉用具を使用しながら、職員・入居者様共に負担の少ない介護、事故のない介護へのスキルアップを図った。

感染症対策として基本的な感染対策を全職員が出来るように個別に研修を行い、感染対策に努めた。

【収益的活動】

多床室の年間ベッド稼働率の平均は 97.2%で、目標を 1.8%下回った。予算達成比率は、96.8%となった。ベッド稼働率の平均が目標を下回った要因として、死亡退所の時期が重なり、かつ、その時期と合わせて介護職 4 名の体調不良による欠員が 1~2 ヶ月ほど生じた。そのような事態があり、入居者様に対し、十分なサービスを提供することができないことを懸念し、新規の入居受け入れを一部控えたことが要因の一つでもあるのではないかと考える。

看取り加算については、70.3%(死亡退所者 27 名中 19 名算定)の算定率だった。

【支出的活動】

必要な介護機器(移乗用走行リフト、介護ロボット hug、眠りスキャン等)を活用することで移乗や見守りの負担軽減。また、勤務表作成に要する時間短縮をするべく、勤務表自動作成ソフトを導入し勤務表作成にかかる時間短縮につながった。経年劣化の福祉用具、ベッドの購入、又はレンタルを行い、入居者様の状態に応じた用具を選定することで入居者様、職員も安心安全に過ごせる環境整備を行った。

【地域貢献活動】

陵南中学校に赴き企業ワークショップを行った。働くことの喜びや大切さを知ってもらうことで介護という職業に興味を持ってもらい、今後の介護従事者の確保に繋がる活動になるように継続していく。

地域の介護サポーターの方々に業務(シーツ交換・清掃業務・厨房業務等々)をお願いすることで、入居者様と話をする時間が増えた。

令和5年度 月別介護度別利用実績一覧表

特別養護老人ホームフラワーホーム

延べ利用者数

単位：人

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	242	561	690	1,493
5月	0	0	251	590	696	1,537
6月	0	0	240	586	649	1,475
7月	0	0	254	609	644	1,507
8月	0	0	281	600	610	1,491
9月	0	0	270	604	605	1,479
10月	0	0	280	607	639	1,526
11月	0	0	300	503	647	1,450
12月	0	0	310	497	650	1,457
1月	0	0	339	477	650	1,466
2月	0	0	319	458	638	1,415
3月	0	0	265	486	712	1,463
合計	0	0	3,351	6,578	7,830	17,759

実利用者数

単位：人

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	9	19	23	51
5月	0	0	9	19	24	52
6月	0	0	8	21	22	51
7月	0	0	9	21	22	52
8月	0	0	10	20	21	51
9月	0	0	9	22	21	52
10月	0	0	10	20	21	51
11月	0	0	10	19	23	52
12月	0	0	10	17	22	49
1月	0	0	11	15	22	48
2月	0	0	11	15	23	49
3月	0	0	10	15	25	50
合計	0	0	116	223	269	608

令和5年度 行事及び研修実績表

特別養護老人ホームフラワーホーム

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
	6 26	開園記念日	職員研修会		
5	12 16 25	給食試食会 法要法話	職員研修会		ご利用者家族 加来先生
6	6 12 19~30 17 26 28	龍桜高校介護実習(看護学科2年生) 避難訓練	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 ケアマネスーパービジョン研修 職員研修会	県老施協 理事長・施設長研修会	龍桜高校看護学科2年生 8名 宮之原氏(県介護支援専門員協議会)、堀内氏(市包括支援センター)
7	4 4~7 10~13 10~27 11 13 17 18 19 20 24~27 25 26 31	陵南幼稚園児 七夕交流 仁心看護専門学校 介護実習 龍桜高校医療福祉科2年 介護実習 介護保険法 運営指導(既存特養・ショートステイ) 介護保険法 運営指導(ユニット) 法要法話 仁心看護専門学校 介護実習 避難訓練	職員研修会	認知症介護実践リーダー研修 認知症介護実践リーダー研修 ユニットリーダー研修 県老施協 スキルアップ研修 権利擁護推進員養成研修講師養成研修	陵南幼稚園児 仁心看護専門学校 学生4名 龍桜高校医療福祉科2年生 4名 地域振興局 地域振興局 加来先生 仁心看護専門学校 学生4名
8	7 7~8 7 8 8~9 9~10 10 25 29 31	職員健康診断 サマーボランティア 中村学園大学 学生来園 サマーボランティア 避難訓練	ノーリフト勉強会 職員研修会	権利擁護推進員養成研修講師養成研修 ファーストステップ研修 県老施協 認知症ケアUP研修会 認知症介護実践リーダー研修	鹿児島第一高等学校 学生1名 中村学園大学 学生2名 鹿児島第一高等学校 学生2名
9	5~6 12~13 11 12~10/6 13~14 15 20 25~10/6/6 26 27~28	龍桜高校医療福祉科2年 介護実習 敬老祝賀会 法要法話 龍桜高校看護学科3年 介護実習	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 職員研修会	認知症介護実践者研修 ファーストステップ研修 県老施協 看取り研修会 権利擁護推進員養成研修会	龍桜高校医療福祉科2年生 4名 加来先生 龍桜高校看護学科3年生 計14名
10	3 3~5 6 17 17~19 21 23 24 25 30~31	加治木看護専門学校 介護実習	職員研修会	霧島市ライフサポートワーカー養成研修 ファーストステップ研修 バリエーション実践コース研修 霧島市ライフサポートワーカー養成研修 鹿児島県介護の入門的研修 認知症介護実践者研修 県老施協 実践力UP研修会(Ver.1) 魅力ある職場作りセミナー IDOオンラインセミナー 交流研修会・見学会 in 仙台	加治木看護専門学校 学生3名
11	1~2 3 7 14 21 24	ほぜ祭り 法要法話	職員研修会	ファーストステップ研修 霧島市ライフサポートワーカー養成研修 県老施協 食事と排泄研修会 かごしま介護技能コンテスト2022 地区老施協 生活相談員研修会	加来先生

令和5年度 行事及び研修実績表

特別養護老人ホームフラワーホーム

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
12	2	玉利棒踊り保存会来園 社会福祉法人監査	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 ケアマネスーパービジョン研修 職員研修会	ファーストステップ研修 権利擁護推進員養成研修会 老施協 業務改善研修会	宮之原氏(県介護支援専門員協議会)、堀内氏(市包括支援センター)
	5~6				
	7~8				
	11				
	14				
	15				
	20				
	25				
1	9	法要法話		霧島市ライフサポートワーカー養成研修	加来先生
	17~18			ファーストステップ研修	
	19				
	26			霧島市ライフサポートワーカー養成研修	
2	1	陵南中学校 職業講話 夜勤者健康診断		県老施協 実践力UP研修会(Ver.2)	中澤 伸氏(川崎聖風福祉会 理事・事業推進部長)
	6			県老施協 介護事業経営戦略セミナー	
	10			ケアマネ研修会	
	16				
	21			地区老施協 看護職員研修会	
	26				
	28				
3	13	法要法話 春の音楽祭	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 職員研修会	地区老施協 栄養士・調理員研修会	加来先生 日当山中学校吹奏楽部 23名
	18				
	23				
	24				
	27			IDOオンラインセミナー実践報告会	

*毎月、IDOオンラインセミナー法定研修・階層別研修受講

令和 5 年度 統計資料及び添付資料

<1>利用者の出身市町村別、年齢別の状況(令和 6 年 3 月 31 日現在の住所地)

n=45

住所 地	年 齢	性 別	65 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 74 歳	75 歳 ～ 79 歳	80 歳 ～ 84 歳	85 歳 ～ 89 歳	90 歳 ～ 94 歳	95 歳 ～ 99 歳	100 歳 以上	計	合計
溝辺町	男		2		2	4	1	1			10	32
	女		1		4	4	6	6	1		22	
国分	女						2				2	2
隼人町	男					1					1	6
	女						3	2			5	
横川町	女					1	1			1	3	3
牧園町	女									1	1	1
世田谷区	女					1					1	1
計				3		6	11	13	9	3	45	
平均年齢					最高年齢				最少年齢			
90.0 歳					105 歳				70 歳			
男性(平均)		女性(平均)			男性(最高)		女性(最高)		男性(最少)		女性(最少)	
84.5 歳		91.8 歳			98 歳		105 歳		70 歳		72 歳	

<2>施設利用状況

事業所名		フラワーホーム		
月	日数(日)	日数×50 名	入居延べ数	稼働率
4 月	30	1,500	1,493	99.5%
5 月	31	1,550	1,537	99.2%
6 月	30	1,500	1,475	99.5%
7 月	31	1,550	1,507	97.2%
8 月	31	1,550	1,491	96.2%
9 月	30	1,500	1,479	98.6%
10 月	31	1,550	1,526	98.5%
11 月	30	1,500	1,450	96.7%
12 月	31	1,550	1,457	94.0%
1 月	31	1,550	1,466	94.6%
2 月	29	1,450	1,415	97.6%
3 月	31	1,550	1,463	94.4%
合計	366	18,300	17,759	97.2%

*小数第 2 位以下切り捨て

<3>介護度の状況

(令和5年3月31日現在) n=45

性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
男	0	0	0	6	5	11	4.45
女	0	0	9	10	15	34	4.18
計	0	0	9	16	20	45	4.24

<4>退所状況

	年齢	性別	退所日	退所理由
フラワーホーム	98歳	女性	令和5年4月2日	死亡
	97歳	女性	令和5年5月8日	死亡
	98歳	男性	令和5年5月17日	死亡
	87歳	女性	令和5年6月19日	死亡
	98歳	男性	令和5年7月12日	死亡
	93歳	女性	令和5年7月13日	死亡
	74歳	女性	令和5年8月8日	死亡
	109歳	女性	令和5年8月13日	死亡
	94歳	女性	令和5年9月5日	死亡
	95歳	女性	令和5年9月16日	死亡
	100歳	女性	令和5年9月27日	死亡
	76歳	男性	令和5年10月18日	死亡
	96歳	女性	令和5年10月24日	死亡
	91歳	女性	令和5年11月2日	死亡
	97歳	女性	令和5年11月4日	死亡
	85歳	男性	令和5年11月6日	死亡
	95歳	女性	令和5年11月26日	死亡
	72歳	男性	令和5年12月16日	死亡
	93歳	女性	令和5年12月20日	死亡(医療機関)
	89歳	女性	令和5年12月20日	死亡(医療機関)
	96歳	男性	令和5年12月26日	死亡
	100歳	女性	令和6年2月18日	死亡
	89歳	女性	令和6年2月29日	ユニットへ移動
	84歳	女性	令和6年3月7日	死亡(医療機関)
	99歳	女性	令和6年3月20日	死亡
	100歳	女性	令和6年3月20日	死亡
	83歳	女性	令和6年3月21日	死亡
	86歳	男性	令和6年3月27日	死亡
	91歳	女性	令和6年3月28日	自宅へ戻られる
【退所状況 集計】				
	退所者数		看取り介護数	施設看取り率
フラワーホーム	29名		24名	82.7%

<5> 事故の状況

(種別)

転倒	転落・滑り落ち	服薬ミス	皮膚剥離	骨折・外傷	異食	その他
7	33	2	23	1	4	14

(発生場所)

食堂・ホール	居室	浴室	トイレ	廊下	屋外	その他
27	46	5	3	1	0	2

(発生時間帯)

深夜 0:00～4:00	早朝 4:00～8:00	午前 8:00～12:00	午後 12:00～16:00	夕方 16:00～20:00	夜間 20:00～0:00
7	18	18	27	10	4

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
96 歳 男性 (多床室)	転落	食堂にてティルト式車椅子上で過ごされていた。ドスンと音がして確認すると、車椅子の右側の床に右側臥位に倒れていた。右前額部より流血あり。医療センター受診し右前頭部5針縫合 頭部 CT 異常なし。保険者に連絡。
94 歳 男性 (多床室)	骨折	起床介助時、右足首の痛みの訴えあり。前日の夕食後、傾眠が強く立てる状況になく職員により全介助で移乗を行った。その際に足首を捻った可能性あり。大井病院受診、レントゲン、CT 検査施行。右外果部骨折。保険者に連絡。
85 歳 男性 (多床室)	転倒	夜勤中、コール鳴り駆けつけるが、ベッドの足元に右側臥位に倒れているところを発見した。左股関節周囲に痛みある為、医療センターへ救急搬送。左大腿骨頸部骨折、肺炎の診断あり。保険者に連絡。
99 歳 女性 (多床室)	転倒	夜勤中、コール鳴り駆けつけるが、ベッド横に右側臥位で倒れているところを発見。右股関節周囲の痛みあり。大井病院へ救急搬送し右大腿骨頸部骨折と診断される。保険者に連絡。
99 歳 女性 (多床室)	誤飲	昼食後の口腔ケア時に下顎の義歯がないことに気が付く。義歯の紛失の可能性があり捜索するが見つからず。発熱、痰がらみがみられ、医療センター受診しレントゲン検査施行。咽頭部に義歯を発見し、取り出した。保険者に報告。

<6> 苦情・相談・意見について

申し出人	意見概要	対応
入居者家族 (苦情)	家族の面会時、ご家族より聞きたい事があると話あり。入浴について「重要事項説明書は週 2 回となっていたが本人が入っていないと言っている」とのこと。確認すると毎週水曜日、土曜日に入る予定となっているが水曜日は体調不良で点滴中であり入浴中止で記録があり。土曜日は入浴の記録も入浴中止の記録もなかったのを職員に確認する。介護リーダーより土曜日に入浴の段取りが出来ずに入浴できていないと説明し謝罪行った。その後、ご家族より「足が痛くて点滴等もして入浴できなかったのは分かるが入浴できなかったら着替えはしないのですか？」と質問あり。入浴中止時は清拭や更衣を行うようになっていること説明したが、「火曜日から毎日面会に来ているがその時から同じ服を着ていて着替えているような感じではない」とのこと。その場で更衣できていない事謝罪行った。	後日ご家族が面会に来られた際に、相談員より、今回の入浴を行っていない件などについて、本人様に不快な思いをさせてしまったこと、ご家族様に不安な思いをさせてしまったことについてお詫びを行なう。今後、同じようなことが無いように入浴が行えなかった時などについての職員同士の連絡等について見直しを行っていきます。とお伝えする。 ご家族からも「いろいろ言ってすみません。これからもよろしく願い致します。」とのお言葉をいただいた。
入居者家族 (苦情・相談)	始良・伊佐地域振興局の介護指導係より、食事についてご家族より苦情・相談の電話があったとのことで、連絡があった。 苦情・相談内容は以下のとおり ・ユニットの食事は、温かいごはんや小鉢があるが、多床室の方は、冷めて硬くなっていたり、デザートなどもない ・ユニットと多床室、同じ食事代なのに異なる提供内容に疑問を抱いてしまう 施設に直接、話をするにはハードルが高いとのことで地域振興局に申し出たとのことだった。 施設長からこれまでの経緯も踏まえ、地域振興局に説明した。	食事を外注に変更したことで入居者様や職員からも同様の意見を頂いており、温冷庫を活用する等、試行錯誤していた矢先の苦情・相談だった。 その後、温かく、適度な柔らかさのお米を提供できるよう、施設側でお米を炊く対応を取ることにした。

<7> 職員数

(令和 5 年 3 月 31 日現在)

施設長	事務員	生活相談員	介護職員	看護職員	介護支援専門員	機能訓練指導員	障害者支援員	管理栄養士	歯科衛生士	総務
1	4	1	27 (12)	4	4	1	0	1	1	4 (4)

* () 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 27 名中「介護福祉士」有資格者 18 名

* 看護職員 4 名中「看護師」2 名「准看護師」2 名

* 総務は洗濯、清掃、送迎業務等に従事。総務 5 名中 2 名は障害者雇用

<8> 入職者数

職種 \ 年代	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	計
介護職員				1	1		2
(うち介護福祉士)	()	()	()	()	(1)	()	(1)
看護職員			1				1
計			1	1	1		3

<9> 退職者数

性別／年代	在職期間	職種
男性 30 代前半	2 年 11 ヶ月	介護職(非常勤職員)
女性 40 代前半	2 年 6 ヶ月	介護職(非常勤職員)
女性 30 代前半	1 年	介護職(非常勤職員)
女性 60 代前半	15 年 5 ヶ月	介護職(正社員)

* 介護職員の令和 5 年度離職率 14.2% (令和 5 年 4 月 1 日在職者 28 人を分母)

令和 5 年度 事業報告

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

【総合的な目標の総括】

令和 5 年度、フラワーホームユニットを退所された方は、9 名だった。9 名の内訳は、ユニットで最期を迎えられた方が 8 名、医療機関長期入院加療の方が 1 名だった。自然な最期を迎えられるよう支援することができた一方、転倒による骨折により、長期入院加療に伴い退所となった方に関しては、転倒を予測した支援を実践することができなかった。また、介護と他職種との関わりが希薄になっていた事案もあり、入居者の支援に支障が生じる等の課題もあった。

入居者の方に適した車椅子の新規購入や既存の移乗機器の活用など、必要な福祉用具や機器の活用に関して推進することができた。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

特殊浴槽での入浴支援時や移乗時等、福祉用具を活用したノーリフト(持ち上げない介護)を継続的に実践することができたが、実践に結び付けることができていない事案もあるので、目的を理解したうえで職員と協同して取り組んでいきたい。

季節に応じたイベント食の提供実績として、27 のイベント食を提供できた。また、数組の入居者さんのご家族をお招きし、食事会も実践することができた。

職員教育については、県老協テーマ別研修会、ユニットリーダー研修、ユニットケア施設管理者研修、IDO オンラインセミナー等の研修を通じて、知識と技術の向上を図ることができた。

リフレクション(振り返り、内省)の場づくりとして、リーダーと職員がしっかり語る場を作ることを目標の一つとして掲げていたが、ほとんど実践することができなかった。そのような状況でも他の職種から介護職に転換した職員に対して、デイリーノートや業務のチェックシートを活用して、振り返りの場を作り、育成の一助となった。

施設長とユニットリーダーによる 1 on 1 ミーティングを通じ、個人・ユニットの目標設定、課題、具体的行動目標等を共有し、振り返ることでリーダーの心理的安全性を高め、互いの信頼関係の構築にもつながった

人材確保に関してはユニットの介護職の数は、常勤換算で 16.0、令和 5 年度の介護職離職者は常勤換算で 2.0 (離職率:12.5%)だった。

【収益的活動】

年間ベッド稼働率の平均は 99.0% で当初目標を達成することができた。予算達成比率は、101.3% だった。

看取り介護加算については、嘱託医・看護職等の関係職種との連携を図り、算定率 75% (死亡退所者 8 人中 6 人算定)の算定率だった。これまで継続的に算定できていた加算のうち、夜勤職員配置加算においては、介護職の退職に伴い、算定できない月が 1 月あった。その他の加算については、各専門職(介護福祉士・看護職・管理栄養士・機能訓練指導員・歯科衛生士等)の配置・取り組みにより継続して算定することができ、収入に結び付けることができた。

【支出的活動】

各ユニットに Hug(移乗サポートロボット)を設置することができた。継続的に活用することで職員の身体的負担を軽減することにつながった。一方で、床走行式リフトの活用・取り扱いが把握できていない職員もあり、今後の課題にもなっている。

【地域貢献活動】

介護サポーターとして、有償で地域の方に介護職員のサポート業務をお願いし、就業してもらった。ユニットでの就労は 1 名で清掃やシーツ交換等に従事してもらい、介護職が専門的な業務に従事ができる環境を作ることができた。

令和 5 年度より山陵会として、改めて自治会へ加入させて頂き、地域の一斉美化作業や資源ごみ回収の立ち合いに参加させてもらうことができた。

令和5年度 月別介護度別利用実績一覧表

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

延べ利用者数

単位：人

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	30	30	300	518	878
5月	0	31	53	310	527	921
6月	0	30	60	230	570	890
7月	0	31	62	248	584	925
8月	0	31	62	246	586	925
9月	0	30	30	263	570	893
10月	0	31	31	217	634	913
11月	0	30	30	210	630	900
12月	0	31	31	223	637	922
1月	0	0	87	248	589	924
2月	0	0	87	232	544	863
3月	0	0	93	279	548	920
合計	0	275	656	3,006	6,937	10,874

実利用者数

単位：人

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	1	1	10	18	30
5月	0	1	2	10	17	30
6月	0	1	2	8	19	30
7月	0	1	2	8	19	30
8月	0	1	2	8	19	30
9月	0	1	1	9	19	30
10月	0	1	1	7	22	31
11月	0	1	1	7	21	30
12月	0	1	1	8	21	31
1月	0	0	3	8	19	30
2月	0	0	3	8	19	30
3月	0	0	3	9	18	30
合計	0	9	22	100	231	362

令和5年度 行事及び研修実績表

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
	6 26	開園記念日	職員研修会		
5	12 16 25	給食試食会 法要法話	職員研修会		ご利用者家族 加来先生
6	6 12 19~30 17 26 28	龍桜高校介護実習(看護学科2年生) 避難訓練	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 ケアマネスーパービジョン研修 職員研修会	県老施協 理事長・施設長研修会	龍桜高校看護学科2年生 8名 宮之原氏(県介護支援専門員協議会)、堀内氏(市包括支援センター)
7	4 4~7 10~13 10~27 11 13 17 18 19 20 24~27 25 26 31	陵南幼稚園児七夕交流 仁心看護専門学校 介護実習 龍桜高校医療福祉科2年 介護実習 介護保険法 運営指導(既存特養・ショートステイ) 介護保険法 運営指導(ユニット) 法要法話 仁心看護専門学校 介護実習 避難訓練	 職員研修会	認知症介護実践リーダー研修 認知症介護実践リーダー研修 ユニットリーダー研修 県老施協 スキルアップ研修 権利擁護推進員養成研修講師養成研修	陵南幼稚園児 仁心看護専門学校 学生4名 龍桜高校医療福祉科2年生 4名 地域振興局 地域振興局 加来先生 仁心看護専門学校 学生4名
8	7 7~8 7 8 8~9 9~10 10 25 29 31	職員健康診断 サマーボランティア 中村学園大学 学生来園 サマーボランティア 避難訓練	 ノーリフト勉強会 職員研修会	権利擁護推進員養成研修講師養成研修 ファーストステップ研修 県老施協 認知症ケアUP研修会 認知症介護実践リーダー研修	鹿児島第一高等学校 学生1名 中村学園大学 学生2名 鹿児島第一高等学校 学生2名
9	5~6 12~13 11 12~10/6 13~14 15 20 25~10/8日 26 27~28	龍桜高校医療福祉科2年 介護実習 敬老祝賀会 法要法話 龍桜高校看護学科3年 介護実習	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 職員研修会	認知症介護実践者研修 ファーストステップ研修 県老施協 看取り研修会 権利擁護推進員養成研修会	龍桜高校医療福祉科2年生 4名 加来先生 龍桜高校看護学科3年生 計14名
10	3 3~5 6 17 17~19 21 23 24 25 30~31	加治木看護専門学校 介護実習	職員研修会	霧島市ライフサポートワーカー養成研修 ファーストステップ研修 バリデーション実践コース研修 霧島市ライフサポートワーカー養成研修 鹿児島県介護の入門的研修 認知症介護実践者研修 県老施協 実践力UP研修会(Ver.1) 魅力ある職場作りセミナー IDOオンラインセミナー 交流研修会・見学会 in 仙台	加治木看護専門学校 学生3名
11	1~2 3 7 14 21 24	ほぜ祭り 法要法話	職員研修会	ファーストステップ研修 霧島市ライフサポートワーカー養成研修 県老施協 食事と排泄研修会 かごしま介護技能コンテスト2022 地区老施協 生活相談員研修会	加来先生

令和5年度 行事及び研修実績表

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
12	2	玉利棒踊り保存会来園 社会福祉法人監査	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 ケアマネスーパービジョン研修 職員研修会	ファーストステップ研修 権利擁護推進員養成研修会 老施協 業務改善研修会	宮之原氏(県介護支援専門員協議会)、堀内氏(市包括支援センター)
	5~6				
	7~8				
	11				
	14				
	15				
	20				
1	25				
	9	法要法話		霧島市ライフサポートワーカー養成研修	加来先生
	17~18			ファーストステップ研修	
	19			霧島市ライフサポートワーカー養成研修	
	26				
2	1	陵南中学校 職業講話 夜勤者健康診断	職員研修会	県老施協 実践力UP研修会(Ver.2)	中澤 伸氏(川崎聖風福祉会 理事・事業推進部長)
	6			県老施協 介護事業経営戦略セミナー	
	10			ケアマネ研修会	
	16			地区老施協 看護職員研修会	
	21				
	26				
	28				
3	13	法要法話 春の音楽祭	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 職員研修会	地区老施協 栄養士・調理員研修会	加来先生 日当山中学校吹奏楽部 23名
	18				
	23				
	24				
	27			IDOオンラインセミナー実践報告会	

*毎月、IDOオンラインセミナー法定研修・階層別研修受講

令和 5 年度 統計資料及び添付資料

<1>利用者の出身市町村別、年齢別の状況(令和 6 年 3 月 31 日現在の住所地)

n=29

年齢 住所	性別	65 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 74 歳	75 歳 ～ 79 歳	80 歳 ～ 84 歳	85 歳 ～ 89 歳	90 歳 ～ 94 歳	95 歳 ～ 99 歳	100 歳 以上	計	合計
溝辺町	男		1		2	2	2	1		8	20
	女		1	1		3	3	3	1	12	
国分	男				1					1	1
隼人町	女			1	1	2		1		5	5
横川町	男							1		1	1
曾於市	男				1					1	1
鹿児島市	女							1		1	1
計			2	2	5	7	5	7	1	29	
平均年齢				最高年齢				最少年齢			
88.2 歳				99 歳				71 歳			
男性(平均)		女性(平均)		男性(最高)		女性(最高)		男性(最少)		女性(最少)	
87.1 歳		88.9 歳		96 歳		99 歳		71 歳		74 歳	

<2>施設利用状況

事業所名		フラワーホームユニット		
月	日数(日)	日数×30 名	入居延べ数	稼働率
4 月	30	900	878	97.6%
5 月	31	930	921	99.0%
6 月	30	900	890	98.9%
7 月	31	930	925	100%
8 月	31	930	925	99.5%
9 月	30	900	893	99.2%
10 月	31	930	913	98.2%
11 月	30	900	900	100%
12 月	31	930	922	99.1%
1 月	31	930	924	99.4%
2 月	29	870	863	99.2%
3 月	31	930	920	100%
合計	366	10.980	10.874	99.2%

*小数第 2 位以下切り捨て

<3>介護度の状況

(令和5年3月31日現在) n=29

性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
男	0	0	0	3	8	11	4.72
女	0	0	3	6	9	18	4.33
計	0	0	3	9	17	29	4.48

<4>退所状況

	年齢	性別	退所日	退所理由
フラワーホームユニット	91歳	女性	令和5年4月18日	死亡
	74歳	男性	令和5年6月20日	死亡
	96歳	女性	令和5年8月29日	死亡
	89歳	女性	令和5年9月23日	長期入院のため
	92歳	女性	令和5年10月25日	死亡
	94歳	女性	令和5年12月22日	死亡
	82歳	女性	令和5年12月26日	死亡
	86歳	女性	令和6年2月22日	死亡
	83歳	男性	令和6年3月21日	死亡
【退所状況 集計】				
	退所者数		看取り介護数	施設看取り率
フラワーホーム	9名		8名	88.9%

<5>事故の状況

(種別)

転倒	転落・滑り落ち	服薬ミス	皮膚剥離	骨折・外傷	異食	その他
4	6	2	7	3	0	3

(発生場所)

食堂・ホール	居室	浴室	トイレ	廊下	屋外	その他
4	20	5	0	0	1	1

(発生時間帯)

深夜 0:00~4:00	早朝 4:00~8:00	午前 8:00~12:00	午後 12:00~16:00	夕方 16:00~20:00	夜間 20:00~0:00
1	4	8	12	5	1

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
89歳 (女性)	転倒	夜間、センサーマット反応あり、訪室するとベッドサイドに設置していたポータブルトイレ後方に左側臥位に転倒していた。左大腿部の痛みの訴えあり。医療センターへ緊急搬送。左大腿骨頸部・転子部骨折の診断あり。保険者へ連絡

<6> 苦情・相談・意見について

申し出人	意見概要	対応
入居者家族 (苦情)	ご家族より生活相談員に電話があり「目薬をしてもらえていないのでは？2 年以上過ぎている目薬が置いたままだったので捨てました。職員から目薬は1ヶ月で無くなると言われた。目脂がついているので面会の時は拭いています。爪切りも酷く伸びていた時もあった。他の職員の方に言うと、面会に行きづらくなるので話を大きくしてほしくないのですが。」と言われた。	生活相談員より、現場職員に事実確認したところ、日頃から本人希望時等に点眼を行っているとのことだった。その旨、ご家族にお伝えした。期限の過ぎた点眼薬を放置していることや支援が行き届いていないことをお詫びした。 今後も点眼薬を継続して行っていくこと、点眼チェック表を作成し点眼忘れを防止すること、目脂・爪切りについては、その都度対応することをお伝えし了承された。

<7> 職員数

(令和5年3月31日現在)

施設長	事務員	生活相談員	介護職員	看護職員	介護支援専門員	機能訓練指導員	管理栄養士	歯科衛生士	調理員	総務
1	4	1 (兼務)	16 (2)	4	1 (兼務)	1	1	2	5 (5)	4 (4)

* () 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 16 名中(1 名は派遣職員)「介護福祉士」有資格者 14 名

* 看護職員 4 名中「看護師」2 名「准看護師」2 名

* 総務は洗濯、清掃、送迎業務等に従事。総務 4 名中 2 名は障害者雇用

<8> 入職者数

年代 職種	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	計
介護職員				2			2
(うち介護福祉士)				(1)			(1)
看護職員			1				1
計			1	2			3

* 介護職員のうち 1 名は派遣職員(看護師の有資格者で介護職として従事)

<9>退職者数

性別／年代	在職期間	職種
男性 40 代後半	2 年 0 ヶ月	介護職(常勤職員)
女性 50 代前半	10 年 3 ヶ月	介護職(常勤職員)

*介護職員の令和 5 年度離職率 12.5% (令和 6 年 4 月 1 日在職者人を分母)

令和 5 年度 事業報告

フラワーホームショートステイ

【総合的な目標の総括】

利用者個々の能力に応じた活動やニーズに沿った生活実現に向けて、外出支援やショートステイでご利用者向けに実施した「ご縁屋カフェ」の開催、屋外活動などを実施した。また、在宅と施設の中間的役割を担う事業所として、施設入所前の長期利用や退院から自宅復帰までのサポートなど、多様化するニーズに対応できた。

ショートステイでお看取りしたご利用者は3名で、例年と比べると増加傾向にあり、今後、看取りに関する研修・振り返り・職員の不安の抽出など、更なる看取りケアの体制作りが必要であると考えている。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

長期利用者の一時帰宅や、望む暮らしのサポート(筍掘り・外食・歩行訓練等)を実施した。ご利用者の望みを実現できたことで、職員のモチベーション向上にも繋がった。

教育については、IDO オンラインセミナーや県老協主催の研修会を始めとする外部研修をオンラインまたは会場で受講した。研修を通して専門性の高い知識が得られ、日々の実践からは得られない学びや気づきがあった。

人材確保については、ショートステイ介護職の数は常勤換算で 9.6、令和 5 年度の介護職離職者は常勤換算で 2.0(離職率:20.8%)だった。

職員が得意とすることや強みを活かし、提供するサービスやご利用者のケアに還元することが少しずつ実践できてきた。

【収益的活動】

5 月に外部居宅・社協など各事業所への訪問、営業を行い、その後、数件の新規の紹介を頂くことができた。

年間ベッド稼働率は 90.1%で、目標を 3%ほど下回った。予算達成比率は、99.8%となった。

今後も外部居宅介護支援事業所や関係職種との更なる連携強化を図るとともに、新規利用者とその家族が安心して利用していただけるよう、支援していきたい。

【支出的活動】

体圧分散の効果が高いマットレス(ソフィア・モルテン)を多く取り入れ、ご利用者の身体的負担の軽減を図った。

車両の老朽化と車椅子使用のご利用者の需要が増えたことから、送迎用の普通乗用車を購入した。これにより車椅子を使用するご利用者のニーズに対応でき、効率的な送迎スケジュールが組めるようになった。

【地域貢献活動】

台風、積雪などの気象状況の悪化により、在宅での支援が困難な時に、ショートステイでの受け入れを行った。

今後も住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、緊急時の受け入れ体制を整えて行きたい。

令和5年度 月別介護度別利用実績一覧表

特別養護老人ホームフラワーホームショートステイ

延べ利用者数

単位：人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	11	100	173	108	76	28	496
5月	0	27	101	170	107	100	27	532
6月	0	17	75	164	130	97	18	501
7月	0	0	92	171	139	116	38	556
8月	0	7	88	178	76	193	26	568
9月	0	3	92	81	137	137	27	477
10月	0	14	90	104	140	157	75	580
11月	0	0	77	60	147	196	49	529
12月	0	0	95	74	129	212	71	581
1月	3	0	156	85	187	149	21	601
2月	0	0	125	96	209	122	18	570
3月	0	0	131	94	240	100	42	607
合計	3	79	1,222	1,450	1,749	1,655	440	6,598

実利用者数

単位：人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	1	9	14	9	8	3	44
5月	0	2	7	12	9	7	3	40
6月	0	2	8	14	9	7	2	42
7月	0	0	9	15	9	9	3	45
8月	0	2	8	15	10	10	4	49
9月	0	1	10	10	8	9	4	42
10月	0	1	9	13	9	8	5	45
11月	0	0	7	9	12	12	4	44
12月	0	0	9	11	7	12	4	43
1月	1	0	13	11	10	9	3	47
2月	0	0	11	9	12	7	2	41
3月	0	0	9	11	16	7	3	46
合計	1	9	109	144	120	105	40	528

令和5年度 行事及び研修実績表

特別養護老人ホームフラワーホームショートステイ

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
	6 26	開園記念日			
5	12 16 25	給食試食会 法要法話	職員研修会		ご利用者家族 加来先生
6	6 12 19~30 17 26 28	龍桜高校介護実習(看護学科2年生) 避難訓練	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 ケアマネスーパービジョン研修 職員研修会	県老施協 理事長・施設長研修会	龍桜高校看護学科2年生 8名 宮之原氏(県介護支援専門員協議会)、堀内氏(市包括支援センター)
7	4 4~7 10~13 10~27 11 13 17 18 19 20 24~27 25 26 31	陵南幼稚園児 セタ交流 仁心看護専門学校 介護実習 龍桜高校医療福祉科2年 介護実習 介護保険法 運営指導(既存特養・ショートステイ) 介護保険法 運営指導(ユニット) 法要法話 仁心看護専門学校 介護実習 避難訓練	 職員研修会	認知症介護実践リーダー研修 認知症介護実践リーダー研修 ユニットリーダー研修 県老施協 スキルアップ研修 権利擁護推進員養成研修講師養成研修	陵南幼稚園児 仁心看護専門学校 学生4名 龍桜高校医療福祉科2年生 4名 地域振興局 地域振興局 加来先生 仁心看護専門学校 学生4名
8	7 7~8 7 8 8~9 9~10 10 25 29 31	職員健康診断 サマーボランティア 中村学園大学 学生来園 サマーボランティア 避難訓練	 ノーリフト勉強会 職員研修会	権利擁護推進員養成研修講師養成研修 ファーストステップ研修 県老施協 認知症ケアUP研修会 認知症介護実践リーダー研修	鹿児島第一高等学校 学生1名 中村学園大学 学生2名 鹿児島第一高等学校 学生2名
9	5~6 12~13 11 12~10/6 13~14 15 20 25~10/6日 26 27~28	龍桜高校医療福祉科2年 介護実習 敬老祝賀会 法要法話 龍桜高校看護学科3年 介護実習	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 職員研修会	認知症介護実践者研修 ファーストステップ研修 県老施協 看取り研修会 権利擁護推進員養成研修会	龍桜高校医療福祉科2年生 4名 加来先生 龍桜高校看護学科3年生 計14名
10	3 3~5 6 17 17~19 21 23 24 25 30~31	加治木看護専門学校 介護実習	職員研修会	霧島市ライフサポートワーカー養成研修 ファーストステップ研修 パリテーション実践コース研修 霧島市ライフサポートワーカー養成研修 鹿児島県介護の入門的研修 認知症介護実践者研修 県老施協 実践力UP研修会(Ver.1) 魅力ある職場作りセミナー IDOオンラインセミナー 交流研修会・見学会 in 仙台	加治木看護専門学校 学生3名
11	1~2 3 7 14 21 24	ほげ祭り 法要法話	 職員研修会	ファーストステップ研修 霧島市ライフサポートワーカー養成研修 県老施協 食事と排泄研修会 かごしま介護技能コンテスト2022 地区老施協 生活相談員研修会	加来先生

令和5年度 行事及び研修実績表

特別養護老人ホームフラワーホームショートステイ

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
12	2	玉利棒踊り保存会来園 社会福祉法人監査	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 ケアマネスーパービジョン研修 職員研修会	ファーストステップ研修 権利擁護推進員養成研修会 老施協 業務改善研修会	宮之原氏(県介護支援専門員協議会)、堀内氏(市包括支援センター)
	5~6				
	7~8				
	11				
	14				
	15				
	20				
1	25	法要法話		霧島市ライフサポートワーカー養成研修	加来先生
	9			ファーストステップ研修	
	17~18			霧島市ライフサポートワーカー養成研修	
	19				
2	26	陵南中学校 職業講話 夜勤者健康診断	職員研修会	県老施協 実践力UP研修会(Ver.2) 県老施協 介護事業経営戦略セミナー	中澤 伸氏(川崎聖風福祉会 理事・事業推進部長)
	1			ケアマネ研修会	
	6			地区老施協 看護職員研修会	
	10				
	16				
	21				
	26				
3	28	法要法話 春の音楽祭	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 職員研修会	地区老施協 栄養士・調理員研修会	加来先生 日当山中学校吹奏楽部 23名
	13				
	18				
	23				
	24				
	27			IDOオンラインセミナー実践報告会	

*毎月、IDOオンラインセミナー法定研修・階層別研修受講

令和 5 年度 統計資料及び添付資料

<1>施設利用状況

事業所名		フラワーホームショートステイ		
月	日数(日)	日数×20 名	入居延べ数	稼働率
4 月	30	600	496	82.7%
5 月	31	620	532	85.8%
6 月	30	600	501	83.5%
7 月	31	620	556	89.7%
8 月	31	620	568	91.6%
9 月	30	600	477	79.5%
10 月	31	620	580	93.5%
11 月	30	600	529	88.2%
12 月	31	620	581	93.7%
1 月	31	620	601	96.9%
2 月	29	580	570	98.3%
3 月	31	620	607	97.9%
合計	366	7320	6598	90.1%

*小数第 2 位以下切り捨て

<2>介護度の状況

(令和 6 年 3 月)

性別	要支援1	要支援2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	0	0	1	3	5	1	0	10
女	0	0	8	8	11	6	3	36
計	0	0	9	11	16	7	3	46

<3>年齢別状況

(令和 6 年 3 月)

平均年齢		最高年齢		最少年齢	
87.0 歳		96 歳		62 歳	
男性(平均)	女性(平均)	男性(最高)	女性(最高)	男性(最少)	女性(最少)
86.1歳	87.2 歳	94 歳	96 歳	79 歳	62 歳

<4> 事故の状況
(種別)

転倒	転落・滑り落ち	服薬ミス	皮膚剥離	外傷・打撲	異食	その他
22	5	2	0	0	0	10

(発生場所)

食堂・ホール	居室	浴室	トイレ	廊下	屋外	その他
6	21	1	2	2	7	0

(発生時間帯)

深夜 0:00～4:00	早朝 4:00～8:00	午前 8:00～12:00	午後 12:00～16:00	夕方 16:00～20:00	夜間 20:00～0:00
0	9	11	8	6	5

*保険者へ報告すべき重大事故はなし

<5> 苦情・相談・意見について

申し出人	意見概要	対応
利用者家族 (苦情)	妻よりショートステイから帰宅後、両腕に内出血斑が出来ていたと、担当ケアマネに連絡があった。 対応した職員に確認すると、退所前日の夜間帯に興奮され、職員が制止する状況があったよう。夜勤の介護職が訪室し「寝る前のお薬を持ってきました」と声をかけると急に興奮され「お前は俺を殺す気か」と部屋から出て行こうとされた。その際、ふらつきがあり、支えようとすると手を振りほどかれ大声で「助けてくれー、殺されるー」と言われた。その声を聞いた多床室の夜勤者も駆けつけ、落ち着いてもらおうとするが、手や足がでる状況で手を抑えざるを得ない状況であった。その後、落ち着かれ居室で過ごされたが一睡もされず、巡視の為、部屋の扉を開けると興奮される状況であった。	妻から連絡があった当日の16時頃、生活相談員がご自宅へ訪問し状況説明を行い、送迎の際に説明がなかった事でご家族に不信感を与えてしまったこととお詫びした。本人より「薬を持ってきた職員の態度が気に障った」との話があり、夜間帯の様子(対応した職員の様子や言葉)をしっかりと話されていた。妻より「何があったかを聞けてスッキリしました。お父さんも悪かったですね。いつも丁寧に接してくれてありがとうございます。これからもよろしくお願いします。」との言葉を頂いた。

<6>職員数(令和6年3月31日現在)

施設長	事務員	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員	管理栄養士	歯科衛生士	総務
1	4	1	11 (3)	4	1	1	1	4 (4)

*()書きは、非常勤職員数を再掲

*介護職員 11 名中「介護福祉士」有資格者 8 名

*看護職員 4 名中「看護師」2 名、「准看護師」2 名

*総務は洗濯、清掃、送迎業務等に従事。総務 4 名中 2 名は障害者雇用

<7>入職者数

年代 職種	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	計
介護職員					1		1
(うち介護福祉士)					(1)		(1)
計					1		1

<8>退職者数

性別／年代	在職期間	職種
女性 40 代前半	6 年 1 ヶ月	介護職員
女性 40 代前半	1 年 0 ヶ月	介護職員(派遣職員)

*介護職員の令和5年度離職率 16% (令和6年4月1日在職者12人を分母)

令和 5 年度 事業報告

フラワーホームデイサービスセンター

【総合的な評価】

日頃の何気ない会話の中からご利用者の思いや希望を聞き、活動に繋げることや、自力で歩く・動くための実践として、ご利用者の生活目標を立て活動や機能訓練を行うことができた。しかし、全てのご利用者の希望を引き出せたかが課題である。

家族会は3年ぶりに実施し、本人・家族の困りごとや思いを共有でき、より私達がどんなサポートができるのかを考えることができた。

令和 6 年度はもっとご利用者との語り合う事を大事にし、必要な環境・関わり・周囲の関係を皆で考え行動していきたい。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

ご利用者の「今」というタイミングで、思いや希望を実現することができた。特に気の合う友人やグループで行く外出活動はその人らしい個性も感じられ好評の活動となった。人生や暮らしを幅広くしていくための「視点」をしっかりと持ち、本人の思いをしっかりと傾聴していく事を令和6年度の課題にしていきたい。

職員教育では、早めの発見をする、気づく力を高める、すぐに行動する事をテーマに、小さな変化に看護師や介護職が早く気づくように努めた。また、職員の働く意欲を向上するように活動などの計画や実施を2人1組で行う仕組みを作り、職員のコミュニケーションも増えた。

今後ご利用者が快適に生活できるように努めていきたい。

【収益的活動】

新規のご利用者数に関して、令和4年度は36人、令和5年度は40人と増加傾向にあった。令和5年度は特に総合事業の方の利用が増え、今後はより活動・参加を意識した取り組みが必要である。また、日々の活動内容を広報紙やSNSを通じて継続して発信していきたい。

【支出的活動】

昼食を配食弁当(トータルフードサービス)に変更し、食器洗浄機を購入。

【地域貢献活動】

利用者と雑巾やボードゲームの作成を行ったが、ご利用者と保育園や学校に寄贈する活動をするための行動を起こすことができなかった。季節のお飾りの作成・販売は冬だけではなく、夏にも実施することができた。作品や計画を細部までイメージして行動し、地域との交流を広げていきたい。

令和5年度 月別介護度別利用実績一覧表

フラワーホームデイサービスセンター

延べ利用者数

単位：人

	総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	30	30	75	313	208	101	27	15	799
5月	30	31	71	304	248	115	33	16	848
6月	25	35	63	280	242	122	30	13	810
7月	24	38	67	290	244	132	27	24	846
8月	21	30	78	266	234	115	24	22	790
9月	21	28	86	204	212	112	22	16	701
10月	24	34	89	273	208	127	27	22	804
11月	22	33	92	268	222	133	11	24	805
12月	15	28	86	252	198	120	10	23	732
1月	19	28	102	241	192	99	9	23	713
2月	22	25	112	247	212	129	3	20	770
3月	22	24	98	261	218	121	2	11	757
合計	275	364	1019	3199	2638	1426	225	229	9375

実利用者数

単位：人

	総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	4	8	11	30	27	9	3	1	93
5月	4	8	10	28	29	9	3	2	93
6月	3	9	10	28	30	11	3	1	95
7月	3	11	10	29	28	11	3	2	97
8月	3	8	12	27	27	11	3	2	93
9月	3	9	15	27	25	12	3	2	96
10月	3	9	15	27	23	11	3	2	93
11月	3	9	16	28	22	11	2	2	93
12月	3	8	16	29	24	10	2	2	94
1月	3	8	17	31	23	8	2	2	94
2月	3	7	18	30	24	11	1	2	96
3月	3	8	17	31	22	12	1	1	95
合計	89	102	167	345	304	126	29	21	1183

令和5年度 行事及び研修実績表

フラワーホームデイサービスセンター

月	行事	日	内部研修	外部研修	来園者
4	桜見物(花見) 選択レクリエーション 障子貼り カレンダー作成・体重測定	10 25	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー(斎藤)	
5	選択レクリエーション バラ園見学 花苗作り カレンダー作成・体重測定	10 25	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー(斎藤・山下・片平)	
6	選択レクリエーション 七夕飾り作り お菓子作り カレンダー作成・体重測定	12 26	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー(片平)	龍桜高校看護科2年 看護実習(8名)
7	選択レクリエーション ひまわり見学 棚作り カレンダー作成・体重測定	10 25	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー(仮屋園) 権利擁護推進員養成研修講師養成研修(山下)	龍桜高校医療福祉科1年 介護実習(3名) 運営指導(2名) 利用体験1名
8	夏祭り 選択レクリエーション ワンダフルデイ出店 カレンダー作成・体重測定	10 25	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー(瀬戸口・仮屋園) 県老協認知症ケアUP研修会(岩切)	
9	運動会 選択レクリエーション お菓子作り カレンダー作成・体重測定	11 25	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー(斎藤・岩切)	
10	かかし祭り見学 コスモス畑見学 選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	10 25	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー(山下・石塚)	利用体験1名
11	選択レクリエーション 紅葉見学 しめ縄作り カレンダー作成・体重測定	10 27	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー(山下・永田)	利用体験1名
12	正月飾り制作活動 忘年会 選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	11 25	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー(山下・下久保)	
1	正月遊び カレンダー作成・体重測定 選択レクリエーション	10 25	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー(片平・瀬戸口)	
2	節分豆まき 雛飾り見学 選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	12 26	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー(境田・岩切) 県老協 実践力UP研修会(Ver.2)(仮屋園) 県老協 介護事業経営戦略セミナー(山下・斎藤)	
3	選択レクリエーション 花見弁当週間 カレンダー作成・体重測定	11 25	ケア会議 職員研修会		

< 1 >登録利用者状況

	介護	総合事業（支援含）	計
4 月	70	23	93
5 月	70	22	92
6 月	72	23	95
7 月	72	25	97
8 月	70	23	93
9 月	69	27	96
10 月	66	27	93
11 月	65	28	93
12 月	67	27	94
1 月	66	28	94
2 月	68	28	96
3 月	66	28	94

< 2 >曜日別・月別平均利用者数（定員 45 名）

	月	火	水	木	金	土
4 月	32	35	29	28	35	34
5 月	32	34	27	29	34	36
6 月	31	34	29	30	31	35
7 月	31	34	29	32	35	37
8 月	30	32	20	30	32	34
9 月	24	32	26	26	25	29
10 月	31	32	26	35	28	35
11 月	31	33	27	34	28	34
12 月	26	31	25	33	24	31
1 月	22	30	20	34	23	32
2 月	32	34	24	34	27	34
3 月	32	31	24	33	26	30
平均	30	33	26	32	29	33

少数点第一を四捨五入

＜３＞介護度の状況

(令和６年３月３１日現在)

性別	総合	介１	介２	介３	介４	介５	計
男	6	4	6	3	1	0	22
女	22	27	16	8	0	1	74
計	28	31	22	11	1	1	94

＜４＞利用者年代別状況

(令和６年３月３１日現在)

60代	70代	80代	90代	100代
3	8	53	30	0

＜５＞介護度別平均年齢状況

(令和６年３月３１日現在)

性別	総合	介１	介２	介３	介４	介５	平均
全	86	86	87	85	73	92	85
男	86	86	83	84	73	0	82
女	86	86	89	87	0	92	88
最高齢 99歳 若年齢 65歳							

＜６＞要介護認定更新の推移

介護度維持	介護度進行	介護度改善	改善率
36名	8名	4名	8.3%

* 令和５年度、介護保険更新認定 48名の結果

＜７＞ヒヤリハットの状況

(種別)

注意不足	食数間違い	送迎車	異物混入	利用者の行為
1	0	0	0	0

(発生場所)

ホール	和室	浴室	脱衣場	トイレ	洗面所	送迎中	玄関	屋外	その他
1	0	0	0	0	0	1	0	0	0

(発生時間帯)

朝迎え時 8 : 30～9 : 30	午前中 9 : 30～12 : 00	午後 12 : 00～15 : 45	夕送り時 15 : 45～16 : 45
1	0	0	0

< 8 > 事故の状況

(種別)

転倒・転落	外傷	皮膚剥離	打撲	その他
9	1	0	2	2
送迎ミス	離設	誤薬		
2	2	1		

(発生場所)

食堂ホール	浴室	脱衣場	トイレ	車内
7	1	3	0	1
玄関	自宅	機能訓練室	屋外	和室
2	1	2	2	0

(発生時間帯)

朝迎え時 8 : 30～9 : 30	午前中 9 : 30～12 : 00	午後 12 : 00～15 : 45	夕送り時 15 : 45～16 : 45
4	9	5	1

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
なし		

< 9 > 車両事故

物損 (謝罪)	物損 (補償)	自車のみ	対向車
0	0	2	0

< 1 0 > 苦情・相談・意見について

申し出人	意見概要	対応
米徳 久男 水流添 フミエ	送迎の時間が遅れた事や、サービス内容の伝達事項が上手く伝わらず、口頭での注意を受けた。	次回から同じ事がないようにその日のミーティングで職員に周知する。

(令和 6 年 3 月 31 日現在)

< 1 1 > 職員数

生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員
1	8 (3)	2	1

- * () 書きは、非常勤職員数を再掲
- * 介護職員 8 名中「介護福祉士」有資格者 7 名
- * 看護職員 2 名中「看護師」2 名
- * 機能訓練指導員は作業療法士 1 名

令和5年度 事業報告書

フラワーホーム ホームヘルプサービス

【総合的な評価】

在宅生活の継続を目標に令和5年度の支援を行ってまいりました。日常生活での困りごとに関しては、ヘルパー個人のスキルで支援を行う事もあるが、定期的なミーティングにて情報共有と職員研修を行う事でフラワーホームホームヘルプサービスの職員全体で課題解決を行った。ですが、持病の悪化や転倒による骨折、新しい病気の発症など入院や施設入所をされる方も多く令和4年度より収益は低下した。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

利用者ケア

各ヘルパーからの報告をカナミックネットワークや LINE を活用し、リアルタイムで情報共有をする事で医療機関やケアマネへの報告などを行い体調の悪化を早期発見と対応を行うことができた。

令和5年度は3名の常勤体勢で支援を行い、夜間帯から早朝にかけての臨時訪問などの依頼があった時には対応を行いました。看取り介護に関しては昨年度の実績はありませんでしたが、今後に対応出来るように研修等を行っていきます。

新型コロナウイルス感染症に感染された方の支援実績はありませんでしたが、熱発されている方の訪問などがあり、感染症対策を行いながら支援を行った。感染症全般に関する予防対策や支援方法などは今後も研修を行い、適切な支援が行えるようにします。

職員教育

I D Oオンライン研修では、ヘルパー個人が学びたい項目を選んで頂き研修受講し個々のスキルアップへ繋げる事が出来た。また、その中でも深く学びたい内容がある時にはヘルパーミーティングでも研修を行った。

身体介護における腰痛予防として福祉用具の導入を検討しておりましたが、今年度での対応は対応出来ておりません。介護職員の腰痛予防の観点から介助方法や、ヘルパーの体調に合わせた訪問員の変更など随時の対応を行う事で働きやすい職場作りを行った。

人材確保

新規採用における人材確保は出来ていない為、現状のヘルパーが働き続けられるように個別的に相談対応や柔軟な働き方の提案を行う事で離職者が出ないように工夫を行った。

【収益活動】

要支援の方から要介護3～5の方まで、ご紹介を頂けたご利用者様への支援を断る事なく支援を行うことができた。また、他法人の訪問介護事業所が閉鎖する事になり、フラワーホームでの対応が可能である事を定期的に伝える事で、ご紹介も複数名頂けた。

【支出的活動】

訪問車両を一台増車した事で臨時的な訪問対応もスムーズに対応を行う事が出来た。また、タブレットを購入し訪問先からのサービス提供責任者からの指示や記録の記入が行えるなど事業所外での対応が可能になった。

【地域貢献活動】

近隣住民で介護保険の申請を行っていない高齢者の方に対してゴミ出し支援を行った。

訪問先での近隣住民への挨拶を行い地域に根差した事業所としての活動を行う事が出来た。

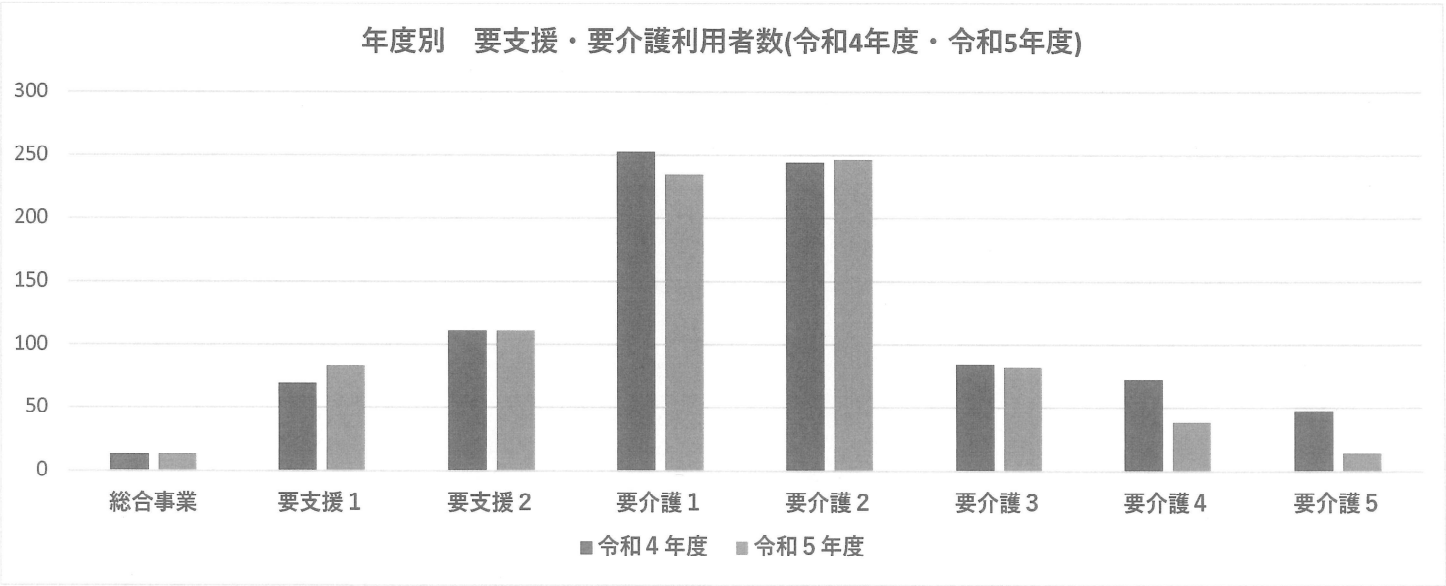
月別要介護度別利用者数一覧表

令和6年5月 作成

サービスの種類	訪問介護
事業所名称	フラワーホーム ホームヘルプサービス

(1)実利用者数 (単位:人)

	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	介護保険外 の利用者数	合計
4月	1	6	9	19	22	7	4	1		69
5月	1	6	9	21	23	6	4	2		72
6月	1	7	8	19	24	7	4	1		71
7月	1	8	8	20	24	7	4	1		73
8月	1	6	9	19	24	7	3	1		70
9月	1	7	9	18	23	6	3	1		68
10月	1	7	9	17	20	7	3	1		65
11月	1	7	11	20	18	7	3	1		68
12月	1	6	10	19	17	7	3	1		64
1月	1	7	9	20	17	6	3	1		64
2月	1	7	9	21	17	7	2	1		65
3月	1	9	11	21	17	8	2	1		70
合計	12	83	111	234	246	82	38	13		819



令和 5 年度 研修報告

フラワーホーム ホームヘルプサービス

月	研修項目	研修内容
4/25 4/25	接遇について 加算について 【IDO 法定研修】倫理及び法令遵守	接遇マナー・言葉遣いについて 加算について
5/23	認知症の理解と対応について 【IDO 法定研修】基本接遇・認知症	認知症状の症状・対応について
6/27	BCP について 【IDO 法定研修】介護予防及び要介護度進行予防	自然災害・感染症(策定検討会)
7/25	熱中症・脱水予防 【IDO 法定研修】ターミナルケア	熱中症の症状、対応について 高齢者によくみられる「脱水症」とは
8/29	食中毒について 【IDO 法定研修】事故発生又は再発防止	食中毒予防のポイント殺菌 除菌方法、食中毒予防 3 原則
9/26	介護事故発生防止 【IDO 法定研修】医療的理解	ヒヤリハットの事例による対応の検討 訪問ヘルパーのヒヤリハットとは？
10/24	感染症予防、蔓延防止 【IDO 法定研修】感染症、食中毒の予防及び蔓延防止	感染症について 感染予防方法・訪問時の対応について
11/28	個人情報・プライバシーの保護 【IDO 法定研修】緊急時の対応研修	個人情報の取り扱いについて 倫理・法定遵守プライバシーの保護
12/26	口腔ケア 【IDO 法定研修】プライバシー保護取り組み	安全な口腔ケアを行うために 口腔ケアで「食べる」を考える
1/30	褥瘡の理解と予防・排泄ケア 【IDO 法定研修】高齢者虐待防止法と虐待防止	褥瘡の知識、予防方法、オムツの当て方 褥瘡について改めて知っておこう
2/27	緊急時対応について 【IDO 法定研修】非常災害対策	事故発生時の対応、連絡の手段等 緊急時は起きる前の対応で決まる
3/26	高齢者虐待防止・身体拘束 【IDO 法定研修】身体拘束排除の取り組み	虐待の種類及び身体拘束についての理解

*訪問介護員等およびサービス提供責任者について個別具体的な研修の目標を定め研修を実施する。研修はオンライン(IDO)で行い研修計画に沿った研修を受講した。

*全員参加のヘルパーミーティングは密になってしまうため、感染状況によって中止をやむを得ない場合もある。

その際は、書面(個人情報の保護の為配布は不可、ヘルパー室内にて掲示)にて連絡事項・利用者状況の報告・連絡等を行う。また、個別の指示に関してはカナミックネットワークでの指示を行う。

令和5年度 事業報告書

フラワーホーム居宅介護支援事業所

【総合的な評価】

令和5年度の総合的な評価としましては、収益では予算達成率が年間で84.3%となり、居宅介護支援事業所としての登録者が令和4年度に比べ減少しました。

例年の新規相談・利用者は平均で約30名前後を推移していますが、令和5年度におきましては49名と増加しています。しかし、病院への入院・施設への入所・逝去される方が例年に比べ53名と多くなっている事が要因であると考えられます。

その事からも在宅で暮らしている、ご利用者に対して定期的な訪問以外でもこまめな訪問を行い、暮らしの事から体調面などの相談、心配事の傾聴を行う。

そして、早期に適切な対応を行っていく事で病気や転倒の予防、施設入所するまでの時間を少しでも遅く、在宅生活が継続出来るように支援を行っていく必要があり、今年度の取り組みとして行います。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

- ・令和5年度は主任介護支援専門員3名 介護支援専門員2名体制での支援を行った。
- ・特定事業所加算の算定要件である週1回の事例検討や研修、ミーティングをケアマネの資質向上を目標に行った。
- ・事例研究(検討)会を定期的で開催し、当法人だけではなく地域の他法人の介護支援専門員へも案内を行い多数の参加をして頂いた。
- ・定期的な事例研究を通して他法人のケアマネとも連携が図れ令和6年2月には県外からの講師を招き講演会や、霧島市・始良市のケアマネと一緒に事例研究を開催した。

【収益活動】

- ・霧島市地域包括支援センターが開催している、通称(あしたば会 みやま会)の研修を定期的に参加し、霧島市内の介護支援専門員との連携を図る事が出来た。
- ・始良市のケアマネが開催している事例研究会に参加し交流を行う事で、ご利用者の紹介も頂いた。
- ・霧島市の居宅介護支援事業所や各病院のソーシャルワーカーや退院支援看護師との連携や訪問を継続して行った。

【支出的活動】

- ・県外視察研修
- ・ICT活用としてタブレットの購入。
- ・定期的な研修開催に伴う講師への謝礼金。
- ・鹿児島県介護支援専門員協議会への入会費用。

【地域貢献活動】

- ・地域住民や介護を行っている家族を事業所へ招待し、地域での困り事や在宅介護の話を共有し、居宅介護支援事業所として支援出来る事を提案した。
- ・事業所周辺等は常に清掃を心掛け、玄関前には四季の花作りを行った。
- ・事業所前の道路を掃除し地域の子供達や近隣住民への挨拶活動を実施した。

令和5年度居宅研修報告書

内部研修		外部研修	
開催月日	研修内容	開催月日	研修内容
4月 4日 12日 18日	【IDO 法定研修】倫理及び法令遵守 ・モラル、倫理について ・介護保険法改正について ・介護負担限度額について	4月21日	事例研究(第一回目)
5月 2日 17日 25日 日 31日	【IDO 法定研修】基本接遇・認知症 ・認知症、ガン予防 ・認知症とマスクについて ・バリデーションについて ・小規模多機能について	5月16日	民生委員定例会
6月 6日 13日 13日 27日	【IDO 法定研修】介護予防及び要介護度進行予防 ・ケアマネ実務研修について ・事例研究の振り返り ・【IDO 階層研修】介護支援専門員研修 ・介護保険法改正のポイント	6月16日 6月20日	事例研究(第二回目) 霧島市包括 みやま会
7月 4日 18日 26日	【IDO 法定研修】ターミナルケア ・事例検討 ・認知症基本法について ・映画オレンジ・ランプについて ・排便ショックの対応について	7月21日	権利擁護推進員養成研修
8月 1日 7日 16日 25日	【IDO 法定研修】事故発生又は再発防止 ・介護予防について ・高齢者虐待防止について ・服薬拒否をされる方への対応 ・語らいカフェについて	8月10日 8月18日 8月21日	包括あしたば研修会 事例研究(第三回目) 語らいカフェ
9月 5日 12日 20日	【IDO 法定研修】医療的理解 ・ターミナルプランについて ・葬祭扶助費とは ・みやま会(事例研究)振り返り	9月19日 9月21日 9月20日	包括 みやま会 【霧島市介護度維持改善率向上 PFS事業に係る研修】 霧島市包括 みやま会
10月 3日 10日 23日	【IDO 法定研修】感染症、食中毒の予防及び蔓延防止 ・ひきこもりに関する実態調査 ・事例検討 ・難病ALSについて	10月5日 10月14日 10月20日 10月30日 31日	霧島市 介護保険事業計画会議 始良市事例研究会 事例研究会 IDO視察研修会 IN 仙台
11月 1日 13日 21日 28日	【IDO 法定研修】緊急時の対応研修 ・事例検討 ・山間部の生活 地域資源 ・県外視察研修 報告 ・事例検討 精神科入院 ・介護ロボットの活用	11月29日	実務者研修説明会

12月 4日 20日 19日 26日	【IDO 法定研修】プライバシー保護の取り組み ・エンドオブライフケアについて ・BCPについて 【IDO 階層別研修伝達】アセスメントについて ・プラス思考で利用者に合わせた支援	12月6日 12月15日 12月16日 12月20日 12月28日	ケアマネ実習指導者研修 事例研究 始良地区 事例研究 包括あしたば・みやま研修 ごちゃまぜカフェ
1月 5日 10日 16日 22日 29日	【IDO 法定研修】高齢者虐待防止法と虐待防止 ・BCP 能登半島地震 ・能登半島地震 避難生活 ・治療と仕事の両立支援について ・伝達研修 職場作りについて ・事例検討	1月19日 1月22日 1月30日	人材育成研修 厚生労働省BCP研修 ひきこもり支援者研修会
2月 10日 19日 27日	【IDO 法定研修】非常災害対策 ・法人主催研修 これからの介護介護支援専門員に求められる事 ・重症難病に関する伝達研修 ・来年度事業計画について	2月7日 2月16日 2月17日	ケアマネ実務者研修受け入れ3日間 ケアマネ協議会 研修 医師会研修 看取りと医療連携 事例研究(第六回目)
3月 4日 18日	【IDO 法定研修】身体拘束排除の取り組み ・高齢者医療負担について ・医療ケア医意思決定プロセス研修	3月12日 3月21日 3月30日	地域包括支援ネットワーク会議 包括 みやま会 始良地区 事例研究

令和5年度月別利用者実績人数

単位:人

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4月	4	10	47	44	15	10	2	132
5月	4	12	44	43	15	10	0	124
6月	4	13	44	42	15	10	0	124
7月	4	12	45	40	17	9	3	126
8月	3	11	45	40	17	11	2	126
9月	9	26	44	36	16	11	3	136
10月	8	25	41	34	17	9	5	131
11月	6	21	45	33	18	11	3	131
12月	6	22	48	34	15	10	3	132
1月	6	20	53	32	16	9	2	132
2月	5	20	52	35	18	8	1	134
3月	6	20	50	34	19	7	1	131
合計	65	144	558	447	198	115	25	1559

令和5年度居宅介護支援月別状況

単位:人

	新規	入院	入所	死亡
4月	3	2	5	1
5月	1	7	2	0
6月	1	4	1	0
7月	3	3	1	0
8月	4	4	4	1
9月	7	7	0	1
10月	6	9	1	1
11月	9	6	0	4
12月	5	4	3	3
1月	3	3	4	3
2月	2	2	2	0
3月	3	2	0	1
合計	47	53	23	15
月平均	3.9(3)	4.4(4.5)	1.9(1.4)	1.25(1)

*()内は前年度

令和5年度 事業報告

地域包括支援センター溝辺支所

【総合的な目標の総括】

令和5年度は、相談実績が163件あり、その内30件は介護保険申請を行い、必要な支援へ繋げた。相談対応に伴う訪問や状態把握が必要な方の訪問などの対応を573件行った。困難事例として4件の個別地域ケア会議を開催した。また、姿見えない高齢者の情報があり、行政、警察と訪問し自宅で倒れている高齢者を発見する事例などもあった。高齢者に留まらず、障害者や子供など世代を超え世帯単位での支援が必要な世帯の相談が年々増えてきている。その際には、各担当機関との連携や情報共有を図った。年々、問題を抱えている環境などが複雑化していることが多くなっている。

65歳以下の生活困窮に関する相談もあり、法人が加盟しているおもしろネットワークを活用し食料品の現物支給の支援を行う事例もあった。

コロナウイルス感染症の影響にて開催が中断していた、地域の専門職によるネットワークの構築と地域課題の発見を目的とした地域包括支援ネットワーク推進会議を3月21日開催した。一人歩きをしても安心して地域で過ごせるように、みまもりアプリについて情報提供を行った。今後は、地域での防災などについて地域の事業所と意見交換ができればと考えている。

今後も介護保険事業者やライフサポートワーカーとの顔の見える関係作りが行い、お互いが相談、連携がしやすい関係性を構築していきたいと考えている。

民生委員との連携については、定例会を通じて顔の見える関係作りや情報交換を行っており、今後も民生委員との連携を図っていきたい。

資質向上に関しては、業務連絡会や外部研修、主任介護支援資格取得の為に研修に参加することで、知識向上を図った。

令和5年度 行事及び研修実績表

地域包括支援センター溝辺支所

月	日	行事	日	内部研修	日	外部研修
4	18 20 21	民生委員定例会 養護老人ホーム入所判定会 包括業務連絡会	12	事業所情報連絡会		
5	16 19	民生委員定例会 包括業務連絡会	11	事業所情報連絡会		
6	13 15 20	民生委員定例会 業務連絡会 みやま会	1 13 16	理事会 事業所情報連絡会 法人I D O研修		
7	3 19 21 27	サービスCケア会議 民生委員定例会 包括業務連絡会 自立支援ケア会議モニタリング	14	事業所情報連絡会		
8	16 18	民生委員定例会 包括業務連絡会	17 25	事業所情報連絡会 法人I D O研修		
9	15	包括業務連絡会			14	霧島市介護維持改善率向上PFS事業研修
10	6 18 20	臨時包括業務連絡会 民生委員定例会 包括業務連絡会			5 16~17 24~25	時期高齢者福祉計画・介護保険 事業計画策定ワーキング 主任ケアマネ更新研修 主任ケアマネ更新研修
11	6 14	包括主催CM研修 民生委員定例会			1~2 16 27~28	主任ケアマネ更新研修 包括・在介研修 主任ケアマネ更新研修
12	12 15 20	民生委員定例会 包括業務連絡会 みやま会				
1	16 19	民生委員定例会 包括業務連絡会			23	入退院支援ルール医療・介護合同研修
2	5 14 16 20 26 27	包括主催研修 民生委員定例会 包括業務連絡会 マニュアルワーキング 運動・体操サロン マニュアルワーキング	23	法人I D O研修	7 22 26	おもいやりネットワーク事業研修 やどかりサポート研修 Kネットセミナー
3	1 12 13 19 25 25 28	マニュアルワーキング ネットワーク会議 マニュアルワーキング 民生委員定例会 運動・体操サロン マニュアルワーキング マニュアルワーキング	8 22	理事会 評議員会		

令和5年度 事業報告

小規模多機能ホームふもとの家

【総合的な目標の評価】

事業所理念である三者の喜び「関わる人みんなが笑顔で地域に暮らし続けるために私たちはここにいます」を合言葉に、全ての職員がご利用者目線に立ち、笑顔いっぱい安心してできる家庭的な環境の提供を目標に運営してまいりました。

ご利用者の楽しみとして、ご本人が自身で管理する菜園を準備し毎日の役割や楽しみを支援し、普段本人だけでは行く事が難しい買い物や仏壇へのお参りなど行いました。

地域の皆様に対しても夏祭りを開催し多数の方にも事業所に訪問をして頂きました。また、お茶ったもんせを定期的で開催出来た事で、より地域に根差した事業所に近づけたと感じる一年でした。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

利用者ケアでは、〈本人の思いを大切に〉〈個別支援の充実〉を目標に、ご利用者目線で担当職員が中心となり「～したい」の実現を支援致しました。

個別支援を更に充実する事を目的に月2回のカンファレンスを計画しましたが、実施出来ない事が多くありました。実施出来なかった課題点として、カンファレンスの計画性が足りなかった事や、日中の支援が重度な方への対応に偏りがちになってしまう等、いくつかの課題も残る一年となり、来年度の計画では2カ月前からの計画を行うなど工夫を行っていきます。また、職員教育・人材確保においては退職者3名、新入職1名でした。

人事異動や、職員のケガ療養時など人員不足を感じる時期もありましたが、これまで通り職員同士のコミュニケーションを大切にし、精神的・身体的に互いに支え合い、職員全員が一致団結して困難を乗り越える良い機会にもなったと感じます。

【収益的活動】

継続的かつ長期的な支援により安定した収益確保につなげることを目標に掲げ、令和5年度は2名の方へ看取りを行うことができ、最期までお付き合いさせていただきました。5名の方が入院や入所により登録解除となりました。また、新規の相談に対し通い定員等の調整が難しく幾つか受け入れが出来なかったことなどもあり、登録定員29名を達成する事ができず、サービス利用頻度の調整や在宅生活の継続支援に課題が残る1年となりました。

【地域貢献活動】

地域交流事業である「お茶ったもんせ」は前年度1回のみの開催に対し8回開催することができました。照明保育園さんとの交流は、コロナ渦以前のように交流が出来るようになり、ご利用者様も喜ばれております。運営推進会議も定期的を開催し、運営上や地域の事など、ご意見を頂き、地域の奉仕作業に参加出来るなど地域貢献活動を行えました。

令和5年度 月別介護度別利用実績一覧表

小規模多機能ホームふもとの家

利用者数

単位：人

	実人数				延べ人数			
	通所	訪問	宿泊	合計	通所	訪問	宿泊	合計
4月	23	17	14	54	411	1,053	191	1,655
5月	26	18	13	57	508	1,108	193	1,809
6月	26	17	13	56	489	1,032	195	1,716
7月	27	18	11	56	491	1,046	180	1,717
8月	27	17	13	57	488	1,001	201	1,690
9月	28	28	13	69	495	1,109	184	1,788
10月	27	19	14	60	503	1,008	190	1,701
11月	26	17	12	55	486	985	188	1,659
12月	26	15	11	52	462	964	173	1,599
1月	25	13	12	50	501	905	197	1,603
2月	26	16	13	55	481	843	172	1,496
3月	26	15	12	53	517	899	196	1,612
合計	313	210	151	674	5,832	11,953	2,260	20,045

登録者数

単位：人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	2	2	5	6	4	0	7	26
5月	2	2	5	6	4	0	7	26
6月	2	2	5	6	4	0	7	26
7月	3	2	5	6	5	0	6	27
8月	3	2	5	6	4	0	8	28
9月	3	2	5	6	4	0	8	28
10月	2	1	5	8	3	0	8	27
11月	2	2	4	8	3	0	7	26
12月	3	1	4	8	3	0	7	26
1月	3	1	4	8	3	0	7	26
2月	3	1	5	8	3	0	6	26
3月	3	1	5	8	3	0	6	26
合計	31	19	57	84	43	0	84	318

令和5年度 行事及び研修実績表

小規模多機能ホームふもとの家

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
4	2	ドライブ(花見)	4/25「小規模多機能型居宅介護について」	4/1 IDOオンラインセミナー 「倫理及び法令遵守」	
	3	味噌汁・団子作り			
	13	クレープ作り			
	21	野菜収穫(玉ねぎ)			
	26	食事会参加(よかあんべ)			
5	2	味噌作り・ふくれ菓子作り	5/25「認知症及び認知症ケアについて」	5/1 IDOオンラインセミナー 「基本接遇」 5/17 IDOオンラインセミナー 「援助者としての自己覚知」	
	3	ドライブ			
	10	ドライブ(バラ園へ)			
	11	あくまき作り			
	16	誕生会			
	25	けせん団子作り			
	29	梅ちぎり			
	30・31	梅干し作り			
6	13	お茶ったもんせ	6/26「基本的な介護技術について」	6/1 IDOオンラインセミナー 「介護予防及び要介護度進行予防」 6/21 IDOオンラインセミナー 「対人コミュニケーションスキル」 6/23 IDOオンラインセミナー 「利他的行為と利己的行為」	
	16	海鮮BBQ(鯛 等)			
	18	ドライブ(アジサイ見学)			
	19	ドライブ(上床公園)			
	20	食事会(カレー・音楽鑑賞)			
	28	誕生会			
	30	紫蘇 もみ			
7	3	七夕飾り付け	7/25「事故は何故繰り返されるのか? ~BIGワードと問題解決の地図~」	7/1 IDOオンラインセミナー 「ターミナルケア」 7/19 IDOオンラインセミナー 「困難を乗り越えるアセスメントの力とは」	ボランティア
	10	けせん団子作り			
	13	ソーメン流し			
	27	誕生会			
	28	お茶ったもんせ(そば打ち)			
	29	提灯作り			
8	5	誕生会	8/28「利用者の尊厳の実践的展開に関する研修」	8/1 IDOオンラインセミナー 「事故発生又は再発防止」 8/16 IDOオンラインセミナー 「安が護が必安な力の家族育京を和ス」 8/25 IDOオンラインセミナー 「ルールとマナーは必要なのか」	利用者家族
	12	かき氷作り			
	13	墓参り			
	19	かぼちゃの苗植え			
	24	誕生会			
	25	花火大会			
9	2・5	栗拾い	9/26「チームケアについて」	9/1 IDOオンラインセミナー 「医療的理解」 9/20 IDOオンラインセミナー 「介護技術のオンライン講座」	ボランティア
	13	敬老会(二胡演奏会)			
	15	ホットケーキ作り・誕生会			
	18	どら焼き作り			
	19	サーターアンダギー作り			
	21	クレープ作り			
	25	ポテトチップス作り			
	26	野菜苗植え(冬物)			
	28	スフレパンケーキ作り			
	29	月見団子作り			
10	1	足湯ドライブ(日当山)	10/25「食 事や嚥下に関する研修～嚥下障害の方の食事の方法・口腔ケアについて」	10/1 IDOオンラインセミナー 「感染症・食中毒の予防及び蔓延防止」 10/28 IDOオンラインセミナー 「失敗体験リフレクションで学ぶ認知症による症状と関わり」 10/27 IDOオンラインセミナー 「さしすせその心理学」	
	2	サーターアンダギー作り			
	6	餃子作り			
	7	大学芋作り			
	12	野菜の種植え・サツマイモおやき作り			
	13	サツマイモドッグ作り			
	21	竹子ふるさと祭り(ドライブ)			
	24	運動会			
	27	甘酒作り			
	28	味噌つくり			
	30	ドライブ(コスモス見学)			
	31	お茶ったもんせ・誕生会			

令和5年度 行事及び研修実績表

小規模多機能ホームふもとの家

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
11	1 3 5 7 8 9 14 16 21 22 26 27 28 30	ふくれ菓子作り ほぜ祭り(フラワーホーム) ポテトチップス作り 玉ねぎ植え・野菜チップ作り ドライブ(足湯・コスモス) ゴマ団子作り ミカンちぎり パームクーヘン・甘酒作り こんにゃく作り お茶ったもんせ ドライブ 塩せん・サツマイモチップ作り 味噌作り キッチンカーを呼んで昼食(鶏飯)	11/24「内省・リフレクションについて」	11/1 IDOオンラインセミナー 「緊急時の対応に関する研修」 11/15 IDOオンラインセミナー 「介護技術オンライン講座」	キッチンカー(hitasura kitchen)
12	3 8 13 14 19 22 25 27 28 30	ドライブ(紅葉) 蒸しパン作り 植樹祭に参加 切干し大根作り お茶ったもんせ こんにゃく作り クリスマス会・門松作り・誕生会 餅つき しめ縄飾り そば打ち(年越しそば)	12/27「認知症ケアとメタ認知」	12/1 IDOオンラインセミナー 「プライバシー保護の取り組み」 12/20 IDOオンラインセミナー 「チームで頼られるフォローシップを發揮する」 12/22 IDOオンラインセミナー 「感情のマネジメント」	
1	1 2 6 7 8 11 20 23 24 25 26	新年全体写真撮影 ドライブ(高屋山上陵) 書初め・お屠蘇で祝う 高菜の漬物作り プリン作り 初詣 ぜんざい作り(鏡開き) ドーナツ作り ケーキ作り・誕生会 切干し大根作り ふくれ菓子作り 蕎麦団子作り	1/25「プライバシー保護について」	1/1 IDOオンラインセミナー 「高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止」 1/17 IDOオンラインセミナー 「脳機能から学ぶ認知症の理解」	
2	2 14 18 27	豆まき 買い物支援 イチゴ苗植え お茶ったもんせ(大正琴)	2/26「バリデーション研修」	2/1 IDOオンラインセミナー 「非常災害対策」 2/21 IDOオンラインセミナー 「介護現場での体験をテーマとしたリフレクション」 2/23 IDOオンラインセミナー 「一番叶えたいことを実現するためのフォローアップ」	ボランティア
3	3 27 29 30 31	ひな祭り お茶ったもんせ 誕生会 花見・馬踊り見学 誕生会	3/25「身体拘束排除のための取り組みに関する研修」	3/1 IDOオンラインセミナー 「身体拘束の排除の為の取り組み」 3/20 IDOオンラインセミナー 「援助者としての7つの原則」	

令和5年度統計資料及び添付資料

小規模多機能ホームふもとの家

<1>利用者の出身市町村別、年齢別の状況

(令和6年3月31日現在の住所地)

年齢 住所	性別	65 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 74 歳	75 歳 ～ 79 歳	80 歳 ～ 84 歳	85 歳 ～ 89 歳	90 歳 ～ 94 歳	95 歳 ～ 99 歳	100 歳 以上	計	合計
溝辺町	男			3	1		2			6	21
	女	1	1	1	4	1	6	1		15	
隼人町	女						1	1		2	2
横川町	女					1				1	1
牧園町	男					1				1	1
福山町	女						1			1	1
計		1	1	4	5	3	10	2	0	26	
平均年齢				最高年齢				最少年齢			
86.1歳				99歳				69歳 4 月			
男性(平均)		女性(平均)		男性(最高)		女性(最高)		男性(最少)		女性(最少)	
82.8 歳		87.3歳		91歳 7月		99歳		75歳 1 月		69歳 4 月	

<2>施設利用状況

事業所名		ふもとの家	
月	登録定員	登録者数	稼働率
4月	29	26	89.7%
5月	29	26	89.7%
6月	29	26	89.7%
7月	29	27	93.1%
8月	29	28	96.6%
9月	29	28	96.6%
10月	29	27	93.1%
11月	29	26	89.7%
12月	29	26	89.7%
1月	29	26	89.7%
2月	29	26	89.7%
3月	29	26	89.7%
合計	348	318	91.3%

*小数第2位以下切り捨て

<3>介護度の状況

(令和6年 3 月 31 日現在)

性別	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均介護度
男	1	0	1	4	1	0	0	7	1.76
女	2	0	5	3	4	0	4	18	2.43
計	3	0	6	7	5	0	4	25	2.24

<4>契約解除状況

	年齢	性別	退所日	退所理由
ふもとの家	83 歳	男性	令和 5 年 6 月 30 日	入所
	99 歳	女性	令和 5 年 9 月 10 日	死亡
	91 歳	女性	令和 5 年 10 月 5 日	入所
	92 歳	男性	令和 5 年 11 月 14 日	入所
	89 歳	男性	令和 5 年 12 月 8 日	入院
	94 歳	女性	令和 5 年 12 月 31 日	死亡
	83 歳	女性	令和 6 年 3 月 3 日	入所
【退所状況 集計】				
			退所者数	看取り件数
ふもとの家			7 名	2 名

<5>新規利用者状況

介護度	年齢	性別	登録日
介護 3	75 歳	男性	令和 5 年 4 月 4 日
介護 3	99 歳	女性	令和 5 年 7 月 1 日
支援 1	85 歳	女性	令和 5 年 7 月 1 日
介護 5	81 歳	女性	令和 5 年 9 月 6 日
介護 2	82 歳	男性	令和 5 年 10 月 17 日
介護 1	86 歳	男性	令和 6 年 1 月 9 日
介護 1	94 歳	女性	令和 6 年 2 月 6 日

<6>事故の状況

(種別)

転倒	転落	服薬ミス	皮膚剥離	打撲	誤飲	離園	その他
17	0	0	0	0	0	2	0

(発生場所)

ホール	畳部屋	居室	浴室	脱衣所	トイレ	屋外	その他
6	1	4	0	0	2	6	0

(発生時間帯)

深夜帯 0:00~4:00	早朝帯 4:00~8:00	午前中 8:00~12:00	午後 12:00~16:00	夕方 16:00~20:00	夜間 20:00~0:00
0	0	6	9	4	0

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
86 歳 女性	離園	令和 5 年 5 月 16 日 14:15 所用にて外出した職員より、事業所の敷地外(道路)を歩いている T 様を見かけたが、車を安全な場所に止めている間に見失ったと電話があった。 ふもとの家のフロアなど見渡す所に T 様の姿がなく、敷地外に出られたと判断。介護職員 2 名を残し 3 人で近所の搜索を開始。搜索しながらフラワーホームに応援要請、主治医にも報告を入れた。近隣住民にも状況説明し応援を頂く。車や徒歩で照明寺近隣を搜索。40 分後 100m程離れた民家の敷地内にて法人職員がか細い声を聞き畑にうつ伏せで倒れているT様を発見した。発語はあり。脈拍触知可能。四肢の明らかな変形なし。その場で簡易的に身体観察し座って頂く。敷地の方が麦茶を提供して下さり2・3口、口にすることが出来た。2 人で支えかろうじて歩行可能。ふもとの家に戻り更衣等行い、医師指示にて点滴開始、安静にして過ごして頂く。

<7> 職員数

管理者	計画作成担当者	看護職員	介護職員
1	1	1	12 (5)

(令和 6 年 3 月 31 日現在)

* () 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 12 名中「介護福祉士」有資格者 7 名

* 看護職員 1 名中「准看護師」1 名